

鳥取市消防団豊実分団の団員たち



「安心して楽しんで」

* 鳥取市消防団豊実分団 *

鳥取市消防団豊実分団（坪田義明分団長、三十七人）は、花火が打ち上げられる中州で防火活動に当たる。雑草に火花が燃え移らないよう開始一時間前に念入りに放水するほか、終了まで待機して火災に備える。

坪田分団長は、「花火の真下にいるので、火の粉や燃えかす、さすが雨のように降ってくる。音もすごく大きく戦場にいるのではないかという錯覚にとらわれた。どこから

火の手が上がってもおかしくない」と昨年を振り返る。

現場は花火が打ち上げられる時以外は足元が見えないほど真っ暗。さらに、さまざまに張り巡らされている。一つ間違えば大変な事態になる可能性がある。団員が川に流される危険もあり、団員たちの安全も考えて今年是要員を二人増やし十人にするという。

坪田分団長は「周囲の建物や観衆は十分な保安距離が確保されているので、安心して花火を楽しんでほしい。火災予防に万全を尽くしたい」と話している。

危険と隣り合わせ 安全守る精鋭10人

夏のこたわり